

開 会（午前9時0分）

○入沢 豊委員長 おはようございます。

出席委員が定足数に達しておりますので、ただいまから予算常任委員会を開会します。

○認定第7号 令和2年度所沢市一般会計予算

○入沢 豊委員長 18日に引き続き、議案第7号「令和2年度所沢市一般会計予算」の審査を行います。

○植竹成年委員 ここで休憩をお願いしたいんですけども。

○入沢 豊委員長 意見調整ですね。

それでは、休憩したいと思いますか、よろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

それでは、再開は10時半とし、暫時休憩いたします。

休 憩 (午前9時1分)

再 開 (午前10時30分)

○入沢 豊委員長 それでは、再開いたします。

○島田一隆委員 大変申し訳ないんですけども、今1件につきましてちょっと調整をしておりまして、もう15分ほど頂ければと思います。よろしく願いいたします。

○入沢 豊委員長 では、再開は45分でよろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

それでは、暫時休憩いたします。

休 憩 (午前10時31分)

再 開 (午前10時44分)

○入沢 豊委員長 それでは、再開いたします。

これより議案第7号「令和2年度所沢市一般会計予算」について意見を求めます。

○矢作いづみ委員 日本共産党所沢市議団を代表し、議案第7号「令和2年度所沢市一般会計予算」について、反対の立場から意見を申し上げます。

詳しくは本会議で申し述べますので、反対する項目を挙げます。

総務費では、行政経営推進委員会委員報酬、民生費では、福祉総合システム改修委託料、保育園給食調理業務委託事業、衛生費では、東部クリーンセンター及び西部クリーンセンターの長寿命化予算、一般廃棄物収集運搬業務委託料、ごみ焼却余熱利用促進市町村等連絡協議会会費。

歳入では、消費税上乗せの料金及び利用料等について、債務負担行為では、保育園給食調理業務委託事業、諸収入では、保育園児童給食費です。

次に、反対ではありませんが、意見を申し上げます。

重度障害者福祉タクシー券は、初乗り料金と距離が変更されたことにより、障害者の負担が増えることとなります。交付枚数を増やされていますが、障害者の皆さんの負担が減るよう、再考を求めます。

所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業は、新年度で終了予定とのことです。障壁除去の支援はまだまだ必要であり、条例の具体化を進めるために、ソフト面、ハード面での支援の継続と充実を求めます。

プラスチックごみ削減推進事業と親亡き後の障害者支援策充実の精神障害者の緊急短期入所事業、医療的ケア児支援体制整備事業は評価します。プラスチック容器はより環境負荷の少ない素材の活用を求めます。

学童保育の学校内施設利用は、かねてから期待されていたことが実現し、課題解決の前進として評価します。しかし、待機児ゼロに向けた取組は、保育園は令和4年を目指すとのことです。放課後児童は具体的な目標が示されませんでした。学童保育事業の大規模化、狭隘化の改善に向け、学校施設の活用や新たな施設整備をさらに進め、保育、放課後児童ともに早期の待機児、保留児ゼロ実現を求めます。

土地利用転換事業の産業用地創出の組合型区画整備事業は、地権者に不利益を与えないよう進めること。COOL JAPAN FOREST関連事業はサクラタウン来場者向けだけではなく、あくまでも市民が憩える計画であることを第一に考えること。以上を申し上げ、意見といたします。

○大石健一委員 自由民主党・無所属の会を代表して、議案第7号「令和2年度所沢市一般会計予算」案に、賛成の立場から意見を申し上げます。

市政70周年を迎えた令和2年度の予算編成は、様々な計画がされており、節目の年にふさわしい予算として評価をいたします。

しかし、これまでは景気がよかったと言われていた状態であったにも関わらず、市税収入は横ばいであり、法人市民税及び事業所税では減少が予想され、今後非常に注意が必要であると感じます。もちろん、民生費が50%を超えて引き続き伸びている状況にあり、厳しい予算運営が今後も続いてまいります。そして、本来であれば、東京オリンピック・パラリンピックの準備・開催、ところざわサクラタウンのオープン、所沢駅ビルグランエミオ所沢2期開業など、話題を発信し、大いに盛り上がる年であるのですが、新型コロナウイルスが今後どこまで影響を及ぼすのか分からない状況になってしまっていて、非常に難しく厳しい事業年度になることが予想されますので、さらに強い組織として立ち向かっていただきたいことと期待をしております。

以下、事業について、予算審査を通して感じたことを率直に申し上げます。

カルチャーパーク築造事業における築山の整備は楽しみにしております。先週の日曜日には、カルチャーパークの駐車場がいっぱいになっており、現在この築山があったならばどれだけよかっただろうと、素直に思いました。もちろん、安全面には十分に留意し設計され、事業実施を行っていただきたいと思えます。

なお、カフェの設置や所沢牛なども楽しめる空間を提供していただきたいと思います。

個性豊かな魅力あるエリアマネジメントを推進していただきたいと思います。その中にあって、都市拠点土地利用デザイン推進事業は、中心市街地と所沢駅周辺まちづくりのにぎわいづくりに大きく期待しております。グランエミオ所沢と所沢駅西口土地区画整理事業内に整備される広域集客型商業施設、いわゆるショッピングモールの開業により、さらに所沢駅だけににぎわいが集約されることになっています。プロペ、ファルマンなど商店街のメインストリートだけではなく、面的な広がりをさせるために、横丁、路地、リノベーションした個性豊かな飲食店が増えるような魅力的なまちづくりを進め、エリアマネジメントの運営組織について醸成をしてください。

また、みんなで創る次世代商店街事業は、ところざわサクラタウンの開業に合わせ、COOL JAPAN FOREST構想を実現していくために、地域の事業者の方々と新しい時代を切り開いていただき、KADOKAWAの様々なコンテンツも利用したまちづくりを進め、エリアマネジメントにつなげる事業にしてください。

最後に、狭山湖周辺人道橋整備事業とマチごとエコタウン推進事業、再生可能エネルギー普及推進事業に関連して申し上げます。

ところざわ未来電力から電力を調達している公共施設ですが、管財課に質疑をした市庁舎の電力について、ところざわ未来電力と東京電力の価格差について調査をされていて、ところざわ未来電力のほうが安価であったとの回答が得られました。担当者はしっかりとした公共施設に対する経営感覚をお持ちであると敬服いたしました。また、小・中学校、公民館、スポーツ施設を運営する教育委員会は、ところざわ未来電力の最大の顧客であります。ほかの部署においても、経営感覚を持ち、ところざわ電力の営業力の向上のためにも、東京電力などとの比較を常に行っていただきたいと思います。

ところざわ未来電力について申し添えておくと、ステップ1の公共施設の電力供給から、ステップ3の各家庭向けへの電力供給が始められるようですが、その前に、私たちに事業計画を示したステップ2の市内事業者向け高圧契約の販路拡大をきちんと実現してください。私たちに約束をした約300事業所を実現してください。再生エネルギーの普及に対する努力が足りていない状況にあると言わざるを得ません。

さて、狭山湖周辺人道橋の東京都水道局に支払う地代についてですが、東京都水道局固定資産規程第40条に、国・地方公共団体またはその他公共団体において、公共または公共用に供するために使用される場合には減免・免除できる旨があると示されているので、さらに交渉を続けてほしいと考えて、先の議会で付帯意見を出しました。これまで担当者レベルで交渉されたことについては理解をいたしております。担当者レベルでは一生懸命取り組まれていることも分かりました。

しかしながら、民間企業の感覚で申し上げると、交渉したというよりも、担当者レベルで交渉しているだけでは申請をしているぐらいにしか感じることができませんでした。私が申し上げているのは、所沢市役所が強い組織であるために、担当者レベルだけに任せるのではなく、このようないわば価格交渉に当たる部分については、その上司である部長が相手側のしかるべきレベルの方に交渉をお願いに伺い、必要であればさらに経営者レベルである市のトップの交渉も行っていくことでもあります。どうか経営感覚を持っていただき、組織運営をしていただきたいと強く願っております。

新型コロナウイルスにおける世界的なパンデミックの収束はまだまだ見えない状況であります。みなで乗り切ってまいりたいと思っておりますし、さらに強い組織になって、ピンチをチャンスに変える令和2年度にされることを願い、市職員の皆さんには本当に頑張っていたきたいとエールを送って、賛成の意見といたします。

○長岡恵子委員 立憲民主党を代表して、議案第7号に対して、賛成の立場から意見を申し上げます。

収納率向上対策事業について。

納税は国民の義務であり、収税率を上げることは重要である一方、支払いの意思はあるものの、その方の経済事情など、やむを得ず支払いが困難なこともあります。催告はオートコールや赤い色をした督促状の送付などで行われ、SNSを利用した催告が当初予算では提案されています。財産の差押えに発展することもあることから、支払う意思のある方を見極め、慎重に対応することを求めます。

次に、児童クラブ施設整備事業及び放課後児童健全育成事業、民設民営児童クラブについてです。

児童クラブの新設には、用地の確保や建物の建設などに経費がかかりますが、学校の余裕教室などを利用した方式は他市では一般的であり、移動に係る児童の安全面や学校施設の有効利用の観点から、今後も進めることを求めます。

また、新たに2か所、児童クラブが開設されることで、狭隘化、大規模化の改善が図られることは評価いたします。今後も旧町地区や東所沢周辺などは高層マンションや宅地開発が進み、児童クラブの需要はますます高まります。引き続きニーズを適切に捉え、定員の適正化を求めます。

次に、保育園人材派遣活用事業についてです。

本市においても、保育士確保が困難な状況にあることからこの事業を導入するわけですが、質疑を通じ、派遣保育士の現場では立場の違う方が入ることへの不安があるということが分かりました。また、保育士経験年数が5年のフルタイムで想定した場合、派遣会社に支払う時給単価は2,500円とのことで、会計年度任用職員より給与面がいいことが想定され、会計

年度任用職員としての保育士確保が困難になることも想定されます。そうした懸念から、派遣保育士であっても職務が適切に果たせること、そして、園児の安全性が脅かされることがないように、より一層質の高い安全対策を講じることを求めます。

次に、再生可能エネルギー普及推進事業及び東部クリーンセンター費についてです。

質疑を通じ、庁舎の電力は51%がところざわ未来電力から、残りの49%はJFEや日本卸電力取引所から購入していることが分かりました。電気料金はところざわ未来電力のほうが年間100万円程度安いとの答弁もありましたが、大手通信事業者も新たに電力事業に参入するとの報道もあり、市場価格は毎年大きく変動することが予想されます。地方自治法では、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならないとあり、他事業者からの電力購入についても常に検討の余地を残しておくことを求めます。

また、東部クリーンセンター費です。質疑を通じ、昨年導入されたEVパッカー車ですが、通常の3トンのパッカー車に比べ2トン車ということもあり、その使用に当たっては改善の余地があることが分かりました。充電のためにセットで導入した電池ステーションも合わせれば、約6,000万円もの経費がかかっています。先ほどの電力にも言えますが、環境にプラスになることについて、そもそも相応のコストが上乗せされるのは当然という意識ではなく、市民から預かった大切な税金という意識を念頭に置き、努めていただくことを求めます。

次に、狭山湖周辺人道橋整備事業についてです。

12月議会で、土地使用料について、東京都に対して減免を求める付帯決議をしました。しかし、現状はまだ交渉中であり、厳しい状況にあることが推察されました。引き続き東京都に対して、ともに狭山湖周辺の魅力向上に資するこの人道橋に係る土地借料について、減免措置を講じることを求めます。

次に、森林経営管理事業についてです。

この事業は、森林環境譲与税を所沢市森林環境基金に積み立て、事業費に充て、公共施設の木質化等へ充当することが検討されています。木質化については無限大の効果があると、かつて予算特別委員会で答弁がありましたが、費用対効果など適切な運用を求めます。

次に、都市拠点土地利用デザイン推進事業についてです。

本事業は、今定例会で議決された所沢市都市計画マスタープランを根拠法令としています。旧町地区では、旧庁舎及び文化会館跡地利用について、地区体育館設置を求める請願を議会に提出し、全会一致で採択された経緯があります。また、本年に入ってから地元自治会連合会より、防災、にぎわい、みどりの拠点としての地区体育館などを併設した公園を求める要望が市長に提出されています。土地利用や都市デザインについては、こうした地元からの要望に真摯に耳を傾け、旧庁舎、文化会館跡地を民間事業者に売ることのないよう、強く求めます。

最後に、過去3年続いた市内中学校の自死及び事件への対応についてです。

このような悲しい事件が再び起こらないよう、児童・生徒へはもとより、教職員へのサポート強化が図られていることが、質疑を通じ、分かりました。当該中学校へ子供を通わせている保護者からは、情報提供が少ない、対応策が十分か不安だといった声も聞かれます。新学期が間もなく始まるわけですが、二度と悲しい事件が繰り返されないことを強く求めます。

以上、申し上げまして、賛成の意見といたします

○荻野泰男委員 会派を代表しまして、議案第7号「令和2年度所沢市一般会計予算」について、賛成の立場から以下のとおり意見を申し上げます。

初めに、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、令和2年度に予定されている事業やイベント等の実施に影響が出ることも考えられる。仮に、中止等の判断がされた場合の支出を最小限に抑えるため、予算の執行に当たっては、これまで以上に慎重を期していただきたい。

また、収入の減少等により、市・県民税をはじめ、各種税金等の納付が困難となる市民や事業者が増加することも懸念されることから、個々の事情に応じたきめ細やかな対応をお願いしたい。

次に、歳出の2款総務費のうち、秘書経費の外国旅費については、市長が友好都市締結のためイタリアを訪問するための予算との説明があったが、相手方の都市も未定であり、新型コロナウイルスをめぐる状況なども不確定であることから、予算の執行に当たっては慎重に判断していただきたい。

管財課で管理している公用車のドライブレコーダーの装着率は約50パーセントとの説明があったが、できるだけ早期に100%になるよう、積極的に取り組んでいただきたい。

中核市市長会にオブザーバー参加するとの説明があったが、県内では川越市に加え、川口市及び越谷市も既に中核市に移行しており、本市も改めて検討していただきたい。

収納率向上対策事業（SNS催告）については、新たな催告システムの導入であり、突然ショートメッセージが届いた市民が困惑してしまうことも考えられることから、事前に市民への周知を十分に行っていただきたい。

3款民生費のうち、社会福祉総務費の社会的障壁の除去推進事業補助金については、令和2年度限りで終了するとの説明があったが、引き続き条例の目的を達成するための取組は、積極的に続けていただきたい。

敬老行事交付金の増額理由として、市民からの要望と消費税率の引上げを挙げられていたが、消費税増税の中、据え置きになっている交付金や補助金等がほとんどであり、説得材料が十分とは言えない。今後の在り方についても、引き続き検討していただきたい。

老人ホーム亀鶴園については、とても大切な施設ではあるが、入所者数が定員を大幅に下回っている状況である。長期的な施設の在り方についての検討を、早い時期から始めていた

だきたい。

教育・保育施設等整備事業については、待望の保育所の新設が期待されるところだが、特に所沢駅周辺は今後も多くの保育需要が見込まれ、さらなる受入れ枠の拡大を目指していただきたい。

4款衛生費のうち、各種予防接種事業については、ロタウイルスワクチンの定期接種化に伴い、接種スケジュールの管理の複雑化なども予想されることから、主として情報提供の充実や医師会との連携のさらなる強化などに努めていただきたい。

狭山湖周辺人道橋の設置に伴う土地借料については、引き続き東京都に対し減免措置を求めていただきたい。

7款商工費のうち、産業人材確保推進事業については、今年度の取組をさらに進め、中小事業者の人材確保という成果に、ぜひ結びつけていただきたい。

8款土木費のうち、道路維持修繕費に関し、街路樹維持管理費に基づいた取組の具現化に向けて取り組んでいただきたい。

9款消防費のうち、災害対策用備蓄品費について、液体ミルクの備蓄も考えてみたい旨の発言があったが、前向きに検討していただきたい。

10款教育費のうち、小・中学校に整備されたエアコンについては、良好な教育環境の確保の観点から、適切に使用するよう、指導していただきたい。

最後に歳入のうち、ふるさと応援寄附金については、魅力的な事業に用途限定した寄附金の募集を積極的に検討していただきたい。

○川辺浩直委員 公明党を代表して、議案第7号「令和2年度所沢市一般会計予算」に賛成の立場から意見を申し上げます。

「次代へつなぐ未来（あす）への架け橋予算」と銘打った令和2年度予算は、総額1,064億円となり、会計年度任用職員制度及び幼児教育・保育無償化の開始に伴う部分の予算の増額はあるものの、主に東部クリーンセンターの工事費の大幅な減少と、所沢市民文化センターミュージズの改修工事の終了などがあって、前年度比マイナス2.8%、30億8,000万円の減額となりました。

このように一般会計の総額は減少していますが、予算の約半分を占める社会保障費といった民生費は増額となりました。歳入において、緩やかな景気の回復を推測しながらも、令和元年度と同じ程度になるものと見込まれているところで、令和2年度においても、引き続き厳しい財政運営であるということには変わりありません。少子高齢化社会が進む今、無駄な予算は削り、基礎自治体の使命である住民福祉の向上につながる事業は、積極的に実施していただくことを求める上で、以下、事業ごとに意見を述べます。

地域公共交通検討事業については、交通不便地域において、高齢化率も増加する中、交通

弱者等の利便性向上の上で評価いたします。利用者の立場に立ち、利便性のよい地域公共交通になるよう、実証運行の中で問題点、課題を改善し、より使いやすい地域公共交通になるよう、事業を進めていくことを要望します。

納税環境整備事業のキャッシュレス化は、住民サービスの向上と自治体業務の効率化のどちらにも資する取り組みであり評価するが、今後は市民への普及率が高い交通系 I C カードも利用できるように、さらに利便性向上への取組を要望いたします。

生活困窮者自立促進支援事業において、生活保護に至る前の支援として、これまで自立相談や居住確保などを行い、今年度はさらに一時生活支援事業を実施するなど、生活困窮者の生活の安定と自立に向けた取組への努力は評価いたします。今後も最後のセーフティーネットとしての役割を果たすためにも、生活困窮者に対する今後の支援については、さらなる充実を求めます。

障害者就労支援事業において、就労支援センターの登録者数と就労者数が微増していることは評価しますが、さらなる就労支援に努め、就労者が増加することを望みます。また、職員課における障害者雇用従業員が増員されていることは、高く評価します。

F C V、燃料電池自動車導入事業は、国の第 5 次エネルギー基本計画及び本市のマチごとエコタウン推進計画の低炭素社会の構築の方針に沿っており、変化するエネルギー情勢に対応すべく、水素もエネルギー選択の 1 つであると、市民への普及、啓発の上で有効であると考えます。

スクールカウンセラー学校派遣事業について、近年、児童・生徒が学校や日常生活で直面する悩みなどは複雑多様化し、この課題解決での取組が難しいところで、今般、市内中学校においても第三者委員会の設置を必要とする事件及び事故などが発生しました。そこで、市費でのスクールカウンセラーを小・中学校へ派遣し、さらに教育相談員を教育センターに配置して相談業務を実施している中で、来年度も継続して市費でのスクールカウンセラーを 4 名任用して取り組もうとされていることから、児童・生徒が抱える悩み、問題の早期発見・早期解決に向けた効果のある事業の実施を求めます。

最後に、新年度はところざわサクラタウンのオープンなどによって、所沢市にとってにぎわいのある令和 2 年度となるはずですが、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束のめどは立っていません。積極的な財政出動と先手、先手の政策執行で、市民経済及び健康衛生を守るため、市民の先頭に立った行政運営を求め、賛成の意見といたします。

○松本明信委員 自由民主党を代表して、議案第 7 号「令和 2 年度所沢市一般会計予算」に賛成の立場から意見を申し述べます。

今定例会の冒頭、市長から令和 2 年度の施政方針が示され、市政施行 70 周年に当たって、所沢市の今後の進むべき方向が明らかになりました。令和 2 年度の一般会計総額は 1,064 億

円となっていて、昨年度比30億8,000万円、率にして2.8%の減となっています。この主な要因は、東部クリーンセンターや市民文化センター「ミューズ」の工事費の減少であります。昨今の社会保障費の自然増を考えた場合、民生費を予算全体の46.8%に抑える一方、土木費を10.1%にするなど、比較的バランスの取れた、将来に向けた持続的な健全財政が期待できる、適正な予算の編成がされていると思われま。

各部長等において、新年度予算編成について、基本的な考え方と取組について、さらには今委員会において、我が会派より熱き思いを求め、発言を頂きました。このことは、委員のみならず、議員、職員が情報の共有が図られたことと認識しております。

さて、新年度予算の編成時点では予想だにできなかった事態が現在発生しております。歳入はもとより歳出のそれぞれの執行に当たっても、厳しい状況が予想されます。しかしながら、執行部の蓄積された豊富な経験を基に、各部さらに連携して着実に進められるものと期待しております。

以下、3点に絞って意見を申し述べます。

まず、1点目は、まちづくりであります。詳細は避けませんが、既に動いているプロジェクト、さらには動き始めた事業、近々完成の事業と多くのかつてない動きが見られます。このことをさらに着実に進めていただくこと。

2つ目には、所沢市の最も大切にしている事業、それは教育であり、福祉であり、子育てであると思えます。このことについても、市民とともにより前進を図っていくこと。

3つ目には、11の行政区において、地域の特性を生かし、より豊かなコミュニティが構築できるよう、あらゆる手法を駆使して活性化に尽力すること。

以上を申し述べ、賛成の意見とさせていただきます。

○入沢 豊委員長 以上で意見を終結いたします。

これより採決をいたします。

議案第7号については、原案のとおり可決すべきものと決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[挙手多数]

挙手多数であります。

よって、議案第7号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○閉会中の継続審査申出の件

○入沢 豊委員長 次に、閉会中の継続審査申出の件を議題といたします。

お手元に配信をしました申出表のとおり、閉会中の継続審査の申出を行うことにご異議ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

ご異議なしと認め、そのように決しました。

以上をもちまして予算常任委員会の全ての審査は終了いたしました。

長時間大変お疲れさまでした。

これをもちまして散会いたします。

ありがとうございました。

散 会（午前11時17分）